

<道路整備第二課>

一般国道123号 桂常北バイパス

一般国道123号は、栃木県宇都宮市と水戸市を結ぶ広域的な幹線道路です。

この国道123号は、城里町市街地の中で主要な道路が集中・分岐しているため、交通渋滞が発生し、また、手這坂が急勾配・急カーブであるため、走りにくく危険な状態でした。そのため、城里町粟から那珂西までの7,580mのバイパスの計画のうち、市街地の渋滞緩和や歩行者の安全を確保するよう、常北市街地の東側2,000mを優先整備区間として、事業を進めています。

現在、優先整備区間のうち城里高架橋を含む区間1,500mが完成しており、残る区間についても早期供用を目指します。

事業概要

- 国道123号 城里町粟地内～那珂西地内
- 全体延長:7,580m
- 事業期間:平成12年度～
- 事業費:約75億円(暫定2車線)

道路構成

- 道路幅員:28m
- 車道:3.25m×暫定2車線、歩道3.5m

